

# 伊敷台校区社協だより

第16号

令和6年3月発行

伊敷台校区

社会福祉協議会

☎ 099-220-0601

## はじめに

校区の皆様方にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、令和5年度はコロナ感染症が落ち着きましたが、当社協としては感染症対策をしながら活動した一年でした。その為、研修視察は中型バスを2台使用し、一日コースを半日コースに短縮するなど工夫し、計画した全ての事業9件は無事実施することができました。

ここに、総務福祉部3件、高齢者福祉部4件、児童福祉部2件の活動を報告いたします。

会長 彌榮 久志

## 実施した事業

### 1 グリーンカーテンふれあいサロン（高齢者福祉部）

地域の人々が集う伊敷台福祉館にアサガオのグリーンカーテンを張ろうとアサガオ苗を移植しました。

8月頃までつるを伸ばし開花結実し、つるが枯れ始めた11月初旬にはパンジー苗に植え替えました。土の消毒や肥料入れ等の作業は8名で行いました。



アサガオ苗をプランターに移植

### 2 土に触れよう農業体験の活動（高齢者福祉部）（夢の里まちづくり協議会と共催事業）



さつまいも堀り

都市農業センター市民農園にて、5月初旬にカブの種まきをし、6月初旬にカブの収穫とサツマイモの苗植え、11月初旬に芋の収穫後タマネギ苗を移植しました。参加者皆さん、カブや芋を持ち帰りました。

なお、参加者は延べ120名でした。

タマネギの収穫は5月に予定しています。来年度も体験を計画していますのでお待ちしております。

### 3 市政出前トーク「災害に関する勉強会」（高齢者福祉部）

令和5年は、平成5年の8・6豪雨から30年となるため、当社協の理事等20名は市危機管理課、市地域福祉課、市社会福祉協議会を招き、水害時の勉強会を令和5年6月4日（日）に伊敷台福祉館で行いました。

危機管理課は「災害に備えよう」、地域福祉課は「大規模災害時における住民主体の避難所について」、社協は「ボランティア活動について」を学びました。



'93夏 鹿児島風水害映像等をみての勉強会

#### 4 研修視察 かがしま自然名勝歴史探訪「桜島を知る」(高齢者福祉部)



桜島湯之平展望所にて

参加者37名が10月28日(土)桜島を学びました。まず、ビジターセンターの映像を見て、桜島の成り立ちや噴火の歴史を知り、更に湯之平展望所へ行き、鹿児島市の地形や地質、大正溶岩について専門家の説明を聞きました。半日でしたが、充実した研修でした。

「知ったつもりが知らないことに気づかされました。」  
「桜島のパワーを肌で感じる事ができた。」などの感想が寄せられました。

#### 5 伊敷台子育てふれあい会(児童福祉部)

令和5年11月24日(金)伊敷台福祉館で21名参加しました。伊敷保育園子育て支援センターの支援を得てクリスマスツリーを作り、楽しいひと時を過ごしました。伊敷台校区で増回の希望もありました。



伊敷台子育てふれあい会のクリスマスツリー作成

#### 6 坂元伊敷台三愛子育てサロン(児童福祉部)

毎月1回、第3金曜日に坂元校区社協と共催。玉里団地保育園で12回行い、身体測定、親子ヨガ、マジック、人形劇、クリスマス会等を実施しました。

#### 7 介護講習会「未来の自分を守る認知症予防の大切さ」(総務福祉部)



笑いヨガでスッキリ

令和5年6月24日、伊敷台南、北町内会、日当平団地親睦会の皆さん33名が参加し、認知症になっても住み慣れた地域の中での暮らし方、医療や介護それに福祉サービスなど受けることができるか等を、申請方法を含め市長寿あんしん相談センター伊敷台と吉野の講習を受けました。

最後に「笑いヨガ」で腹から声を出しました。

#### 8 伊敷台健康スマイルキッチン「そば作り体験」(総務福祉部)

令和5年12月8日(金)21名が参加しました。そばは健康食品として又年越しそばとしてなじみ深い食べ物であります。講師の専門用語を聞き、「二八そば」づくりに挑戦。水回し、練り、延ばし、たたむ、切る等貴重な体験をしました。



ソバ作り受講中

#### 9 広報誌作成・発行(総務福祉部) 令和6年3月

各部からいただいた原稿を要約して掲載しました。

#### 【編集後記】

令和5年度伊敷台校区社会福祉協議会の活動は、校区皆様の積極的な参加により充実したものとなりました。誠にありがとうございました。今後の事業に関するご意見・ご希望がありましたら下記の連絡先にお寄せくださいますようお願いしております。(文責・前原)

連絡先：彌榮 (☎ 099-220-0601)